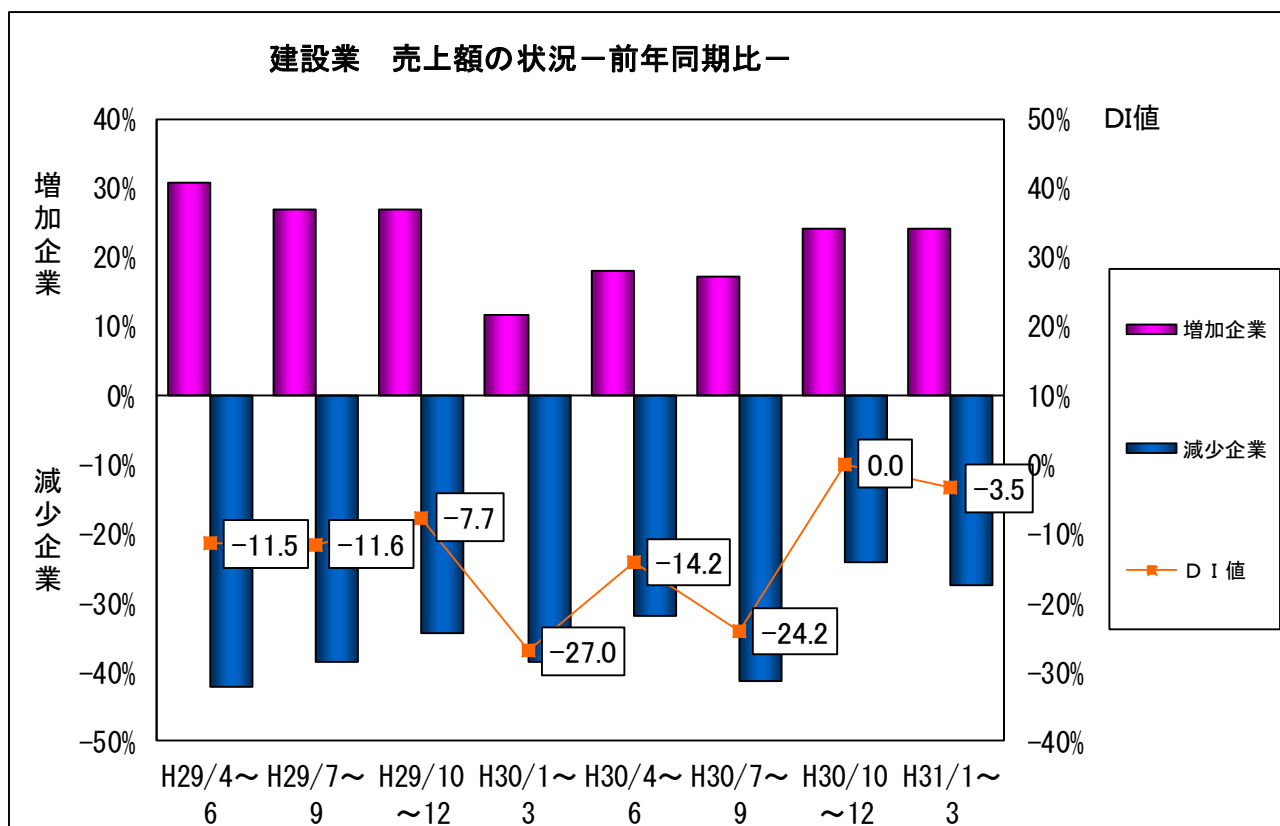




(2) 主要項目の概況（前年同期比）

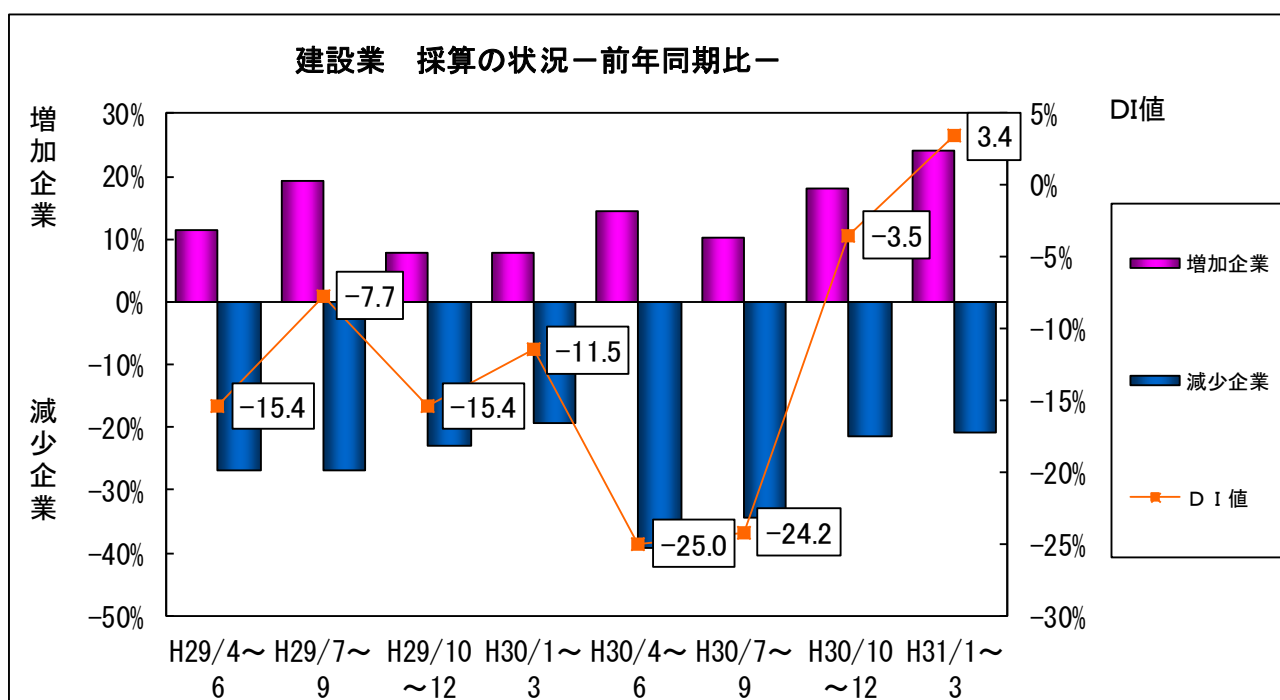
①完成工事額（前年同期比）

今期の完成工事額D I 値は▲3.5。前期の0.0 から 3.5 ポイント下降した。  
来期見通しは▲6.9 とやや下降の見込み。



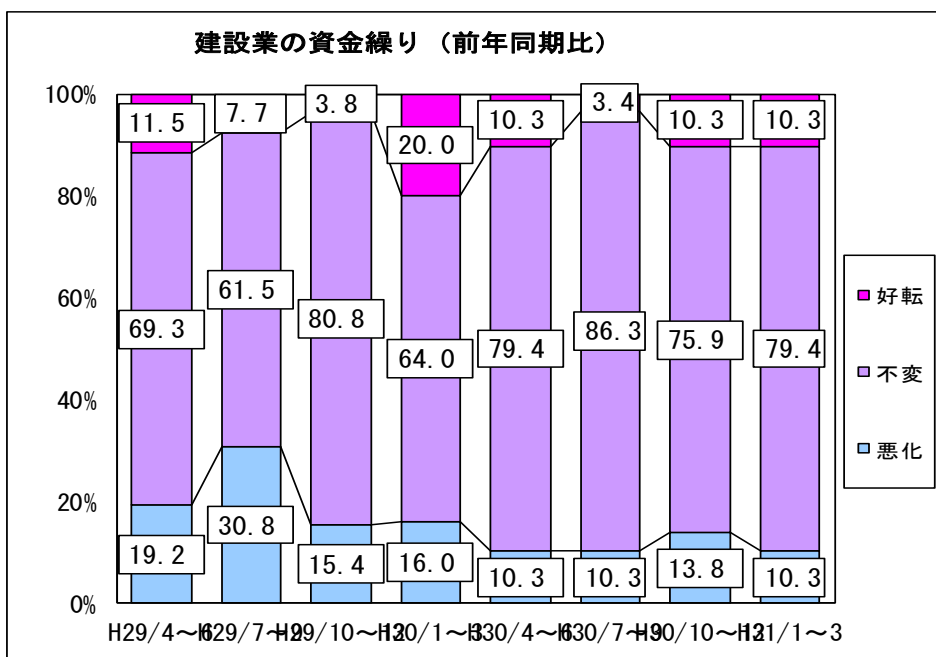
②採算（前年同期比）

今期の採算D I 値は、3.4。前期の▲3.5 から 6.9 ポイントの上昇となった。  
来期見通しは、▲17.3 と大幅に下降する見込み。



### ③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I値は0.0。前期の▲3.5から3.5ポイント改善した。  
来期見通しは、▲10.4と下降する見込み。

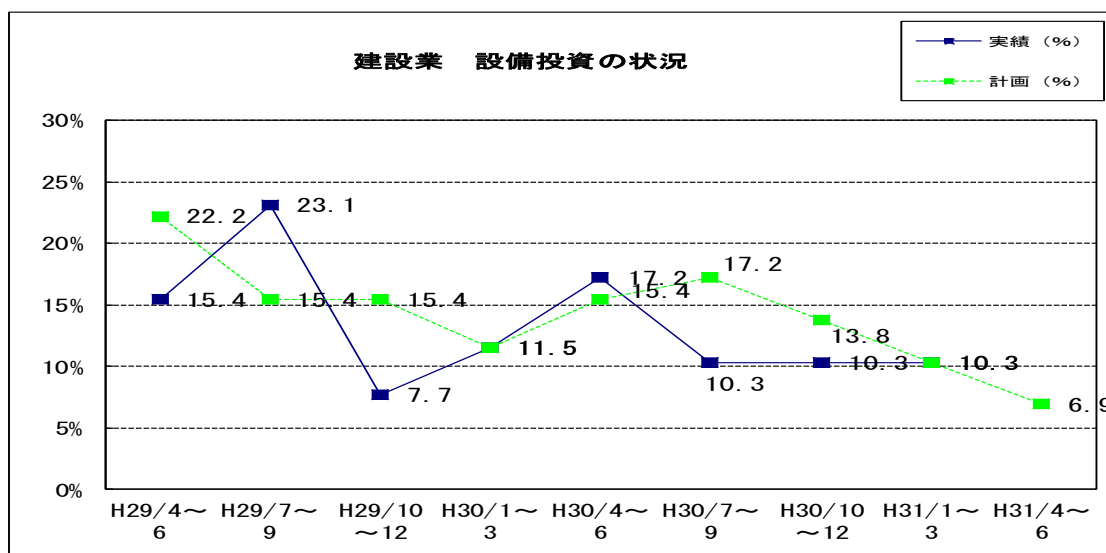


### ④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投資内容								なし
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	3	0	0	2	0	1	0	0	0	26
(%)	10.3	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	89.7
今期実施 (実数)	3	0	0	2	0	0	0	0	1	26
(%)	10.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	89.7
来期計画 (実数)	2	0	1	0	1	0	0	0	1	27
(%)	6.9	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	33.3	93.1

今期設備投資を実施した企業は3社（10.3%）。前期（平成30年10～12月期）の実施企業3社（10.3%）と横ばい。来期は2社（6.9%）が設備投資を計画している。



### ⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあげる項目は、

- ・ 「民間需要の停滞」 (前期 17.4%→今期 27.3%)
- ・ 「材料価格の上昇」 (前期 43.5%→今期 22.7%)
- ・ 「熟練技術者の確保難」 (前期 34.8%→今期 22.7%)
- ・ 「従業員の確保難」 (前期 26.1%→今期 18.2%)
- ・ 「大企業の進出による競争の激化」 (前期 17.4%→今期 18.2%)
- ・ 「請負単価の低下、上昇難」 (前期 21.7%→今期 4.5%)

となっている。

